

市長への提案 受付実績 提案・回答

令和8年4月から令和8年6月までに皆様からいただいた提案等は42件でした。

令和8年4月～令和8年6月受付分

区分	件数
観光産業	11 件
都市基盤	4 件
教育文化	4 件
環境衛生	2 件
情報通信	0 件
職員・窓口	3 件
福祉	7 件
防災・安心	0 件
まちづくり・住民協働	6 件
その他	2 件
提案・要望・苦情でないもの	3 件
合計	42 件

皆様からお寄せいただきました提案のうち、令和8年4月から6月までに文書で回答した案件を、個人情報の取扱いに十分留意した上でお知らせします。

ただし、企業等の営業活動、お礼や私的なもの、誹謗中傷、個人が特定できるものなど、公開することが適当でない判断したものは除いています。

寄せられた皆様からの提案は、市長が目を通し、竹原市のより良いまちづくりに役立たせるようにしてまいります。

○都市基盤

標題	町並保存地区における舗装工事について
提案の趣旨	町並み保存地区の工事により、石畳風の道路が掘り返され味気ないアスファルトになってしまいとても残念に思う。この先に以前のような風情のある道路に復元するのか？ 是非、元の石畳道路を復元してほしい。
回答	町並み保存地区とその周辺地区は、多くの歴史的建造物が存在しており、これらは伝統的建造物群保存地区と一体となった本市固有の景観を形成しております。特に、町並みとの調和に配慮したレンガや自然石による石畳の舗装は、良好な景観形成において重要な役割を果たしているものと考えています。 現在、同地区においては、公衆衛生の向上を目的とした下水道管布設工事、老朽化対策としての水道管更新工事を一体的に進めており、令和9年度までの完了を目標に取り組んでいるところです。 今回ご指摘いただいた、アスファルトによる仮舗装につきましては、工事に伴う掘削後の安全確保と交通機能の維持を目的

	とした暫定的な舗装であり、最終的な仕上げではありません。 最終的な舗装の復旧につきましては、下水道工事・水道工事完了後に順次工事を発注する予定としており、復旧にあたっては、「歴史ある町並みと調和した街路の整備を目指し、現在の竹原らしい景観を継承する」ことを整備方針の一つとし、現在の景観の維持はもちろん、耐久性や安全性も考慮しながら検討を進めております。 工事期間中は、従来の石畳とは異なる景観となり、ご不便やご心配をおかけしますが、今後も市民や観光客の皆様に親しまれる町並みの形成に努めてまいります。
担当課	都市整備課

○教育文化

標題	子どもの自習できる場所の確保について
提案の趣旨	受験期に入った生徒が塾以外で勉強できる図書館のような場所を求めているのを耳にする。現在の図書館では、落ち着いて勉強できる環境ではないように思われる。 通塾の生徒には自習室が提供されているようだが、自分で勉強したい子どもたちにも環境を整えて欲しい。
回答	本市では、中心市街地に立地している公共施設の老朽化や狭小化などの課題や公共施設に対する新たな市民ニーズなどを踏まえ、中高生を含めたこどもや子育て世代など、多くの市民の日常的な居場所を創出するため、既存の公共建築物の活用も含めた、新たな複合施設整備について検討しております。 また、施設整備にあたっては、複合施設整備に対する中高生や市民向けのアンケート調査を実施しており、「友達と飲食しながら学習できるスペース」、「集中して仕事・勉強できる場所がほしい」といった意見もいただいているところであり、学習スペースを中心とした、中高生の居場所を確保することは重要であると認識しております。 複合施設整備にあたっては、市民の皆様のご意見やご提案をいただきましたご意見も参考に、持続可能な財政運営を前提として、多くの市民の皆様にご利用いただける複合施設について検討していきたいと考えております。
担当課	企画政策課公共施設再整備担当

○観光産業

標題	大久野島でのうさぎのエサ問題
提案の趣旨	大久野島の多様な野生動物の共存と環境保全に向け、食べ残しや放置の原因となるエサの給餌を禁止・持ち帰りとし、多言語の看板等で周知を徹底するよう求める。なお、降雨等により自然に還りやすい種類のうさぎ用エサ（ペレット）については許容するなど、実態に即したルール作りを要望する。
回答	大久野島には、うさぎとの触れ合いなどを目的に、多くの観光客に訪れていただいておりますが、観光客が持ち込んだエサの放置による課題や、うさぎへの不適切な行動により様々な影響が生じております。そのため、島の管理者である環境省を中心に、休暇村大久野島や竹原市に加え、交通事業者を含む関連事業者、地域住民代表者、うさぎの愛好家等を交えた協議の場を設け、大久野島の現状や課題等についての情報共有を図るとともに、課題解決に向けた対応策を検討しているところです。 これまでの取組例としては、うさぎのエサやりのルールづくりや、うさぎの食べ残したエサの持ち帰りを呼びかける活動、ポスターやリーフレットの作成による周知などを実施してまいりました。 今後におきましてもいただいたご提案も参考にさせていただきながら、引き続き協議し、大久野島及び竹原を訪れる皆様に「行ってみたい」「また訪れたい」と思っただけのような様々な取組を関係機関と連携し進めてまいります。
担当課	産業振興課

○環境衛生

標題	水の汚染について
提案の趣旨	本会議を拝見した。子どもを大切にされている市長の思いは有り難いが、給食無料にかけのお金を地域の安心安全の源である、水の不安解消に使ってほしい。地場産業のお酒も水を使っている。不安のある水を使っている竹原のお酒が敬遠されるのではと懸念している。
回答	本市では良好な水質を保持するため、市内の河川において、定期的に水質の測定を行っており、年度ごとの測定結果をまと

	めたものをホームページに掲載しております。 田万里川支川におけるP F O S等の指針値超過を受け、追加検査として下流域を含む4地点及び周辺の井戸5地点において水質検査を実施しておりP F O S等の濃度が指針値を超過していないことを確認しております。 又、市の水道水については、国が定めた水質管理目標設定項目のうち、より安全で快適な水を供給するため、各種検査を行い、水質基準に適合した安全で快適な水質であることを確認しています。 今後も関係機関と連携しながら、水環境の監視を継続し、市民の皆様が安心して生活できる環境の確保に努めてまいります。
担当課	地域づくり課